

快進撃！アーチェリー国体少年女子2連覇達成！！

10月14日(土)～16日(月)にかけて、特別国民体育大会アーチェリー競技が鹿児島県の鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場にて開催された。本校アーチェリー部からは少年男子に佐藤葉月(準特3年)、姫嶋謙心(普通3年)、芦刈隼人(準特2年)、少年女子に渡邊芽吹(情報3年)、石井美羽(普通1年)、澤田こころ(準特1年)の計6名が参加した。少年の全メンバーが本校アーチェリー部からの選出となった。

1日目は72本の合計得点で個人・団体の順位を決める予選ラウンドが行われた。本校では石井美羽(普通1年)が前半終了時に10位だったが、後半にさらに集中力を発揮し、徐々に点数を伸ばし、最終的には4位に入賞することができた。(右:石井)



2日目は3名による予選72本の合計得点で決められた順位での団体決勝トーナメントが行われた。大分少年女子は合計 1808 点で2位通過であった。1位の大阪府は合計 1894 点と 100 点近くの差をつけられていた。

強風が吹き、うまく力を発揮できないチームが多い中、少年女子は初戦から準決勝まで 1 ポイントも与えず完勝。圧倒的な強さを見せつけた。(左から石井、渡邊、澤田)



【左:第3エンド、澤田(準特1年)の1射目的の中心を射抜き、試合の流れが大分に動いた瞬間】

最終日の団体決勝戦、夏のインターハイに優勝した3名で構成された強豪大阪府との戦い。昨年の決勝戦も大阪府と対戦、2年連続での戦いとなった。迎えた第1エンドは【大阪 54 点—大分 46 点】で大阪の先制。予選 1 位の力を見せつけられた。

第2エンドは【大阪 51 点—大分 51 点】、6射目で10点を決めた渡邊の執念が引き分けに追いつけた。

第3エンドは【大阪 50 点—大分 55 点】と驚異の追い上げを見せ、次のエンドを制したチームが勝ちというところまでこぎ着けた。

最終エンドは先行の大阪が 53 点を取り、大分は最後の1射が 8 点以上を決めたら勝利という場面で、渡邊芽吹(情報 3 年)がプレッシャーをはねのけ的の中心 10 点を見事に射抜き合計 56 点という高得点をたたき出し、2 年連続3度目の優勝を決めることができた。

【右:狙いを定める渡邊】



【上:勝利を喜ぶ3人、左から澤田、石井、渡邊】